

## 〈試験概要〉

- 試験場所 北海道富良野市中五区
- 品種 R113
- 定植日 2016年7月6日
- 散布方法 定植20日後から7日～10日おきに500倍希釈液を7回葉面散布した。
- 散布日 7月26日、8月2日、12日、19日、26日、9月5日、17日
- 散布コスト 1回あたり200ml/10a(340円) × 7回散布 1反あたりのコスト 2,380円

## 〈サンプリング方法〉

- 採取場所 各区圃場の中腹から4玉結実した株を左右の畝から3株ずつ、計6株選び、各区それぞれ24玉収穫した。
- 測定項目 重量 (24個)、糖度 (5個, 赤道に垂直に切断、果皮から2cm内側の糖度を測定した)
- 測定日 2016年9月28日

## 〈試験結果〉

試験区及び対照区の規格分布及び重量の比較 (サンプル数 各区24個)

	対照区		試験区		
	数量 (玉)	割合 (%)	数量 (玉)	割合 (%)	
規格	4玉	6	25	5	21
	5玉	13	54	17	71
	6玉	4	17	2	8
	7玉	1	4	0	0
	8玉	0	0	0	0
重量	合計 (g)	44,536	45,676		
	平均 (g)	1,855	1,903		

**合計重量 1140g増加！！**

試験区及び対照区の糖度の比較 (度) (サンプル数 各区5個)

	対照区	試験区
1	14.8	16.2
2	14.7	15.1
3	14.2	16.0
4	15.1	15.3
5	13.9	16.7
平均	14.54	15.86

**平均糖度1.32度上昇！！**

\*屈折糖度計の数値を使用

## 〈結果および考察〉

- 甘彩六花試験区は対照区に対して5玉 (1.6kg～2.0kg) の規格が4個多く、6玉 (1.3kg～1.6kg) は対照区の半数、7玉 (1.1kg～1.3kg) は0個であった。
- 24個の合計重量は試験区が**1140g増加した。**
- 糖度では試験区が対照区に比べ**平均糖度が1.32度高く、**サンプル内でのばらつきが少なかった。また、試験区では対照区に比べ、**熟度が高かった**といえる。

以上のことにより、甘彩六花はメロンの肥大を促進し、糖度を上昇させることができる。さらに、熟度を促進することで、より早く出荷することが可能になると考えられる。

## 試験参考写真



右：甘彩六花試験区  
左：対照区

各区から24個収穫し、重量を測定した。

甘彩六花試験区

最高糖度はデジタル糖  
度計で18.9度！  
対照区+3.6度でした！！



対照区

最高糖度はデジタル糖度計  
で15.3度でした。

\*データには屈折糖度計の数値を使用しています。